



つくること、まもること、伝えること

令和8年度 北陸地方整備局

事業研究発表会

【同時開催】 広報コンクール (事例発表9/9)

2026 9/ 8(火)・ 9(水)

会場 新潟美咲合同庁舎1号館

受付時間

9月 8日(火)12時30分から13時30分

16時50分から17時30分

9月 9日(水) 8時20分から 9時00分

15時20分から16時00分

受付時間外の一時通行証の貸与及び返却は守衛室に
お願いします



国土交通省北陸地方整備局は、河川、道路、港湾、空港、営繕、公園といった国のインフラ施設の整備や維持管理、地震・洪水などへの危機管理、災害支援(TEC-FORCE)の仕事の他、建設業の監督、地方自治体への地域づくり・まちづくりなどの助言を行っています。

北陸地方整備局では、こうした現場で培った、技術や調査・研究等の成果を発表する場として「事業研究発表会」を毎年開催しています。

事業研究発表会

検索

課題論文や過去の論文などはホームページに掲載しています。その他プログラムなどはQRコード及びキーワードで、ホームページへアクセスし、最新情報をご覧ください。

北陸地方整備局ホームページ
事業研究発表会にリンク



プログラム目次

特別講演		2
プログラム(部門)概要		3
プログラム概要		4
発表プログラム(グループ別)		5
Aグループ(4F合同会議室) (5~6)		
II	アカウントビリティ	
VIII	行政・法令実務・業務効率化	
Bグループ(4F共用会議室3) (7~8)		
I-1	イノベーション(DX・新技術)	
Cグループ(4F共用会議室2) (9~10)		
III	災害対応・防災	
V	くらし・活力	
Dグループ(4F共用会議室1) (11~12)		
I-2	イノベーション(全般)	
VI	環境	
Eグループ(2F港湾海岸電算室) (13~14)		
IV	維持管理・全般	
VII	雪	
ご来場の皆さまへ		15
会場のご案内		16

『「好きなことだけ！」を仕事にする経営』



山井 太 Tohru Yamai

株式会社スノーピーク

代表取締役会長執行役員

CEO 兼 CCO (Chief Creative Officer)

株式会社スノーピーク（Snow Peak, Inc.）は、ものづくりのまちで知られる燕三条発祥のアウトドア総合メーカーで、高品質なテントやキャンプ用品の開発・販売を手掛け、「人生に、野遊びを。」をコンセプトにアウトドアのある豊かなライフスタイルを提案しています。近年はアパレル、グランピング、地域活性化事業などにも展開し、国内外で多くのファンを持つ人気ブランドとして成長を続けています。

スノーピークというブランドの成長についてや、自身が経営するで大切にしていることをお話しいたします。

日時：令和8年9月9日(水) 13:00～14:30

会場：北陸地方整備局4階共用会議室

・映像情報共有化システム

その他管理＞北陸地方整備局＞北陸本局1（HD）

【講師略歴】

山井 太（やまい とおる）

1959年/新潟県三条市生まれ

1959年新潟県三条市生まれ。明治大学卒業後、外資系商社勤務を経て1986年、父が創業した現在のスノーピークに入社。アウトドア用品の開発に着手し、オートキャンプのブランドを築く。1996年に代表取締役社長に就任。

毎年30～60泊をキャンプで過ごすアウトドア愛好家であり、徹底的にユーザーの立場で考え開発する、他にはない画期的なプロダクトやサービスを提供し続けている。現在は、地球上のすべての人の人生を豊かにする未来を創造していくために、自然や人とのつながりの大切さや、ユーザーとともに育んできた日本の豊かなキャンプ文化を世界に届けている。

三条市立大学客員教授。青森大学客員教授。著書に、『スノーピーク「好きなことだけ！」を仕事にする経営』（2014年、日経BP）、『スノーピーク「楽しいまま！」成長を続ける経営』（2019年、日経BP）がある。

プログラム(部門)概要

令和8年度 発表課題 部門

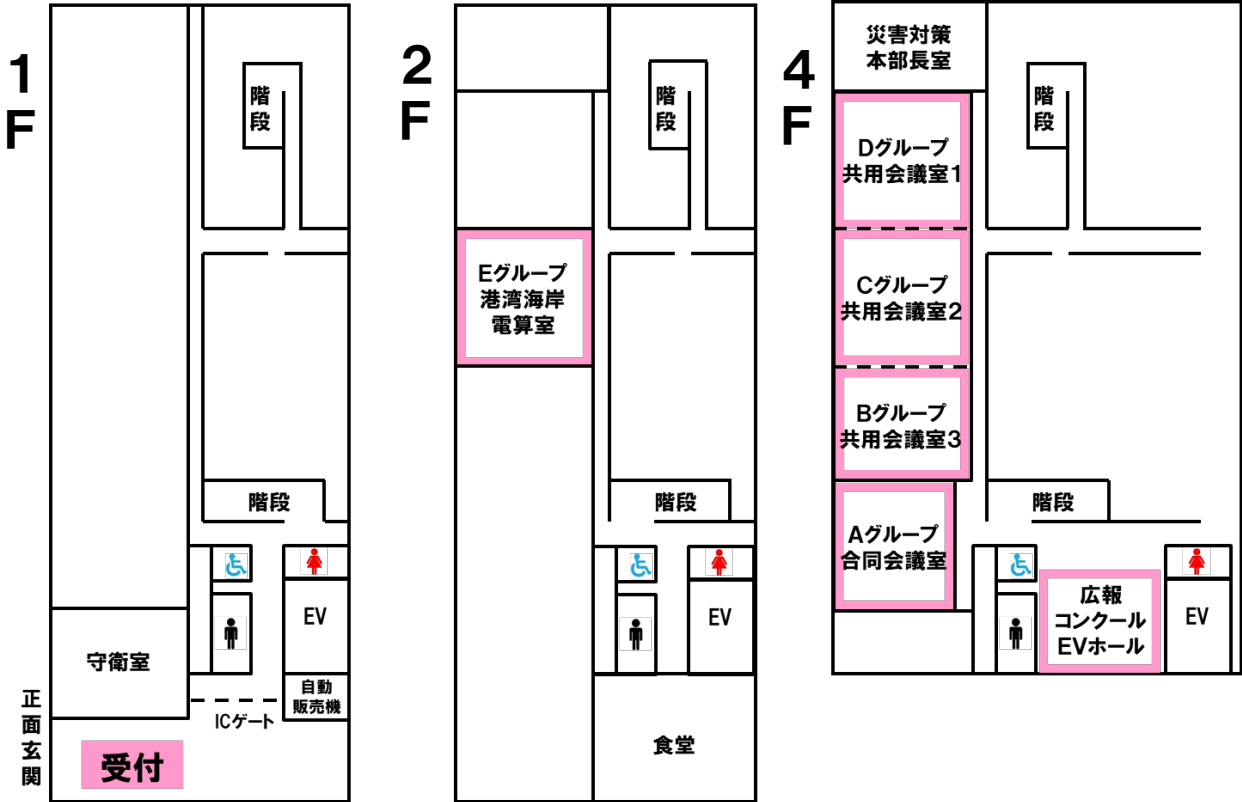
部 門			内 容	論文数
I	イノベーション			
	I-1	DX・新技術	・ i-ConstructionやDXの取り組みに関すること ・ 新技術やUAV、AIの活用、普及に関すること	15
	I-2	全般	・ I-1 以外全般	8
II	アカウンタビリティ		・ 地域住民に対する情報提供、NPOや地域との連携等コミュニケーションの推進に関する取り組み ・ モニタリング調査、パブリックコメント制度等に関する取り組み ・ 情報公開の推進に関する取り組み ・ マスコミ対応等に関する取り組み ・ 効果的、効率的な広報の実施事例	6
III	災害対応・防災		・ 災害時（地震・水害等）の対応、防災、災害復旧、危機管理（テロ対策含む）に関すること	12
IV	維持管理・全般		・ 河川や道路等の社会資本の維持管理・更新に関すること ・ 安全（交通安全等広い意味も含む）に関すること	11
V	くらし・活力		・ 地域活性化・再生による活力社会の取り組み ・ 社会資本整備に関する効果等に関する調査・分析及び評価 ・ 多様なライフスタイル形成に関する取り組み ・ 担い手に関する取り組み	3
VI	環境		・ 環境、リサイクル（発生抑制、再利用の促進、適正処理の推進）に関する取り組み ・ 地球温暖化に関する取り組み（事業の効率化による循環型社会におけるCO2削減、脱炭素化の推進等） ・ 環境、景観に配慮した取り組み（水環境と生態系の保全、自然共存型社会の構築等） ・ SDGsに関する取り組み	7
VII	雪		・ 雪を活かした地域づくり（利雪による地域活性化の取り組み等） ・ 雪に強い地域づくり（冬期交通対策、克雪を考慮したまちづくり等）	4
VIII	行政・法令実務・業務効率化		・ 法的諸問題の調査研究と摘要、解説 ・ 多様な入札、契約制度の試行に関すること、又はその摘要、解説 ・ 業務推進、業務効率化等の新たな取り組み	6
			・ 国土交通省CX（組織変革）に関すること ・ 生成AIの業務利活用に関すること ・ 日常業務、事務手続き等での課題及びその解決	

プログラム概要

※詳細な時間については、発表別プログラム(グループ別)をご覧ください。

9月 8日 (火)						
会場	4F 合同会議室	4F 共用会議室 3	4F 共用会議室 2	4F 共用会議室 1	2F 港湾海岸電算室	4F エレベーターホール
12:30~13:00	受付 (正面入口)					
13:05~13:10	—	開会式			—	—
13:30~16:47	Aグループ Ⅱ アカウンタビリティ Ⅶ 行政・法令実務・業務効率化	Bグループ Ⅰー1 イノベーション (DX・新技術)	Cグループ Ⅲ 災害対応・防災 Ⅴ くらし・活力	Dグループ Ⅰー2 イノベーション (全般) Ⅵ 環境	Eグループ Ⅳ 維持管理・全般 Ⅶ 雪	広報コンクール パネル展示

9月 9日 (水)						
会場	4F 合同会議室	4F 共用会議室 3	4F 共用会議室 2	4F 共用会議室 1	2F 港湾海岸電算室	4F エレベーターホール
8:30~9:00	受付 (正面入口)					
9:00~11:30	Aグループ Ⅱ アカウンタビリティ Ⅶ 行政・法令実務・業務効率化	Bグループ Ⅰー1 イノベーション (DX・新技術)	Cグループ Ⅲ 災害対応・防災 Ⅴ くらし・活力	Dグループ Ⅰー2 イノベーション (全般) Ⅵ 環境	Eグループ Ⅳ 維持管理・全般 Ⅶ 雪	広報コンクール パネル展示
11:30~13:00	休憩					
13:00~14:30	—	特別講演			—	—
14:45~15:30	—	表彰式・閉会式			—	—



発表プログラム(グループ別)

Aグループ / II アカウンタビリティ、Ⅷ行政・法令実務・業務効率化

9月 8日(火) 13:30~16:54 会場：合同会議室

No.	時 間	発 表 題 名	発 表 者 所 属		発 表 者
< II アカウンタビリティ >					
1	13:30 ～ 13:42	道路が繋がる、地域が広がるー国道289号八十里越 長岡国道事務所の歩みと広報の実践について	長岡国道事務所	計画課	三品 祐太
	13:42 ～ 13:48	質疑応答、入れ替え			
2	13:48 ～ 14:00	生成AIを活用した流域治水啓発動画について	阿賀野川河川事務所	流域治水課	佐々木 瞳羽
	14:00 ～ 14:06	質疑応答、入れ替え			
3	14:06 ～ 14:18	国道8号加賀拡幅の整備効果について	金沢河川国道事務所	計画課	川瀬 寛己
	14:18 ～ 14:24	質疑応答			
	14:24 ～ 14:35	《 休 憩 》			
4	14:35 ～ 14:47	和倉温泉における護岸復旧の進捗に応じた広報活動	能登港湾空港復興推進室		小八田 涼
	14:47 ～ 14:53	質疑応答、入れ替え			
5	14:53 ～ 15:05	関係機関、地域と取り組んだ7.11水害から30年行事について	高田河川国道事務所	調査第一課	片岡 優也
	15:05 ～ 15:11	質疑応答、入れ替え			
6	15:11 ～ 15:23	知って備えていのちを守ろう！「防災インフラカードin あづみの」	長野県	安曇野建設事務所 整備課	池部 功一
	15:23 ～ 15:29	質疑応答			
	15:29 ～ 15:42	《 休 憩 》			
< Ⅷ行政・法令実務・業務効率化 >					
7	15:42 ～ 15:54	全員で取組むオフィス改革 ー営繕部の執務環境改善に向けた取組ー	営繕部	整備課	山田 清智
	15:54 ～ 16:00	質疑応答、入れ替え			
8	16:00 ～ 16:12	大字名義土地の権利整理と用地取得について	新潟国道事務所	用地第二課	渡部 瑠美
	16:12 ～ 16:18	質疑応答、入れ替え			
9	16:18 ～ 16:30	契約手続きにおけるミスの発生状況とその影響	総務部	契約課	黒川 結加
	16:30 ～ 16:36	質疑応答			

Aグループ / II アカウンタビリティ、Ⅷ行政・法令実務・業務効率化

9月 9日（水） 9:00～10:41 会場：合同会議室

No.	時 間	発 表 題 名	発 表 者 所 属	発 表 者
< II アカウンタビリティ >				
10	9:00 ～ 9:12	宗教法人法施行以前に登録された神社名義の土地の取得	富山河川国道事務所 用地第二課	梅野 寿太郎
	9:12 ～ 9:18	質疑応答、入れ替え		
11	9:18 ～ 9:30	阿賀川河川事務所勉強会の運営と改善について	阿賀川河川事務所 総務課	須貝 南水
	9:30 ～ 9:36	質疑応答、入れ替え		
12	9:36 ～ 9:48	土地収用法による「協議の確認」制度の活用	用地部 用地企画課	茅野 潤平
	9:48 ～ 9:54	質疑応答		

広報コンクール事例発表

9月 9日（水） 11:00～11:30 会場：合同会議室

No.	時 間	発 表 題 名	発 表 者 所 属	発 表 者
1	11:00 ～ 11:05	インフラツーリズムの取り組み	利賀ダム工事事務所 調査設計課	中野 翔太
	11:05 ～ 11:10	質疑応答、入れ替え		
2	11:10 ～ 11:15	現地で解く仕組みが人を動かす — 信濃川流域を巡るクイズラリーによる河川理解促進と流域治水の普及 —	信濃川河川事務所 流域治水課	五十嵐 遙久
	11:15 ～ 11:20	質疑応答、入れ替え		
3	11:20 ～ 11:25	かけ算で魅せる能登復興の広報展開	能登復興事務所 計画課	中野 光
	11:25 ～ 11:30	質疑応答		

※展示は、4 階エレベータホール

Bグループ / I-1イノベーション（DX・新技術）

9月 8日（火） 13:30～16:54 会場：共用会議室3

No.	時 間	発 表 題 名	発 表 者 所 属		発 表 者
< I-1イノベーション（DX・新技術） >					
1	13:30 ～ 13:42	砂防工事におけるICT施工技術を活用した工事の手引き（案）の作成について	飯豊山系砂防事務所	調査課	林部 龍雅
	13:42 ～ 13:48	質疑応答、入れ替え			
2	13:48 ～ 14:00	A I 交通規制の試行について	高田河川国道事務所	直江津国道維持出張所	高倉 優次
	14:00 ～ 14:06	質疑応答、入れ替え			
3	14:06 ～ 14:18	大河津分水路改修事業における統合CIMモデルを用いた改修事業の円滑化に向けた取組報告	信濃川河川事務所	計画課	三谷 龍之祐
	14:18 ～ 14:24	質疑応答			
	14:24 ～ 14:35	《 休 憩 》			
4	14:35 ～ 14:47	横川ダムにおけるAI技術を活用した洪水予測システムの構築及び運用上の課題について	羽越河川国道事務所	横川ダム管理支所	富樫 順
	14:47 ～ 14:53	質疑応答、入れ替え			
5	14:53 ～ 15:05	TEC-FORCE被災状況調査におけるU A V写真測量の活用検討について	防災部	防災室	神山 大空
	15:05 ～ 15:11	質疑応答、入れ替え			
6	15:11 ～ 15:23	神通川水系砂防における無人化施工に対する取組について	神通川水系砂防事務所	工務課	神喰 航平
	15:23 ～ 15:29	質疑応答			
	15:29 ～ 15:42	《 休 憩 》			
7	15:42 ～ 15:54	大町ダムにおけるAI を用いた流入量予測システムの構築について	大町ダム管理所		杉田 萌
	15:54 ～ 16:00	質疑応答、入れ替え			
8	16:00 ～ 16:12	災害に強い半島地域を目指すAIドローンを活用した取組について	能登復興事務所	計画課	猪井 夏雄
	16:12 ～ 16:18	質疑応答、入れ替え			
9	16:18 ～ 16:30	自動係留装置の導入・運用に向けて～全国初「自動係留装置導入ガイドライン（案）」策定～	新潟港湾空港技術調査事務所	技術開発課	一越 愛莉
	16:30 ～ 16:36	質疑応答			

Bグループ / I-1イノベーション（DX・新技術）

9月 9日（水） 9:00～10:41 会場：共用会議室3

No.	時 間	発 表 題 名	発 表 者 所 属		発 表 者
< I-1イノベーション（DX・新技術） >					
10	9:00 ～ 9:12	立山砂防事務所の無人化施工Technical Note	立山砂防事務所	水谷出張所	濱野 棕
	9:12 ～ 9:18	質疑応答、入れ替え			
11	9:18 ～ 9:30	神通川における非接触型電波式水位流速計の導入と運用 ～高水流量観測の省力化と安全性の向上～	富山河川国道事務所	流域治水課	寺井 萌華
	9:30 ～ 9:36	質疑応答、入れ替え			
12	9:36 ～ 9:48	大規模土砂災害（天然ダム）を想定したUAV活用による緊急調査手法の検討	湯沢砂防事務所	調査課	吉崎 壮
	9:48 ～ 9:54	質疑応答			
	9:54 ～ 10:05	《 休 憩 》			
13	10:05 ～ 10:17	災害復旧工事におけるICT施工を活用した工程確保の取組について	金沢河川国道事務所	工務第二課	石田 竜太郎
	10:17 ～ 10:23	質疑応答、入れ替え			
14	10:23 ～ 10:35	国営越後丘陵公園の効率的な運営管理と新たな取り組みについて	国営越後丘陵公園事務所	工務課	菅家 康生
	10:35 ～ 10:41	質疑応答、入れ替え			
15	10:41 ～ 10:53	生物工学とi-Constructionが拓く「創造的かつ藻造的復興」の可能性について	能登復興事務所	工務第三課	小林 駿斗
	10:53 ～ 10:59	質疑応答			

Cグループ / Ⅲ災害対応・防災、Ⅴくらし・活力

9月 8日（火） 13:30～16:54 会場：共用会議室 2

No.	時 間	発 表 題 名	発 表 者 所 属		発 表 者
< Ⅲ災害対応・防災 >					
1	13:30 ～ 13:42	国道7号府屋大橋大橋におけるECIを活用した 耐震補強工事について	羽越河川国道事務所	道路管理課	三浦 士元
	13:42 ～ 13:48	質疑応答、入れ替え			
2	13:48 ～ 14:00	信濃川下流左岸での堤防亀裂の発生と対策について	信濃川下流河川事務所	管理課	木下 泉子
	14:00 ～ 14:06	質疑応答、入れ替え			
3	14:06 ～ 14:18	太平洋側大規模災害発生時の北陸港湾におけるバックアップ体制構築に向けた取組について	港湾空港部	クルーズ振興・港湾物流企画室	種村 瑞希
	14:18 ～ 14:24	質疑応答			
	14:24 ～ 14:35	《 休 憩 》			
4	14:35 ～ 14:47	供用目前で断たれた道 ー中屋トンネル工区2車線復旧までの軌跡ー	能登復興事務所	工務第四課	西山 英雄
	14:47 ～ 14:53	質疑応答、入れ替え			
5	14:53 ～ 15:05	流域治水の自分事化を促す教材の開発とその教育効果の検証	千曲川河川事務所	防災情報課	前田 悠
	15:05 ～ 15:11	質疑応答、入れ替え			
6	15:11 ～ 15:23	能登復興 砂防事業の取組ー砂防ソイルセメントの活用検討の状況について	能登復興事務所	調査課	今村 福
	15:23 ～ 15:29	質疑応答			
	15:29 ～ 15:42	《 休 憩 》			
7	15:42 ～ 15:54	金沢港戸水岸壁の災害復旧 ー現場課題への対応と施工上の工夫ー	金沢港湾・空港整備事務所	保全課	山本 雅久
	15:54 ～ 16:00	質疑応答、入れ替え			
8	16:00 ～ 16:12	災害対策機械出動指示・報告の簡素化に向けた検討	北陸技術事務所	施工調査・技術活用課	熊倉 裕将
	16:12 ～ 16:18	質疑応答、入れ替え			
9	16:18 ～ 16:30	姫川流域における河床変動計算を用いた土砂・洪水氾濫対策計画の検討	松本砂防事務所	調査課	佐藤 史崇
	16:30 ～ 16:36	質疑応答			

Cグループ / Ⅲ災害対応・防災、Ⅴくらし・活力

9月 9日（水） 9:00～11:17 会場：共用会議室 2

No.	時 間	発 表 題 名	発 表 者 所 属		発 表 者
< Ⅲ災害対応・防災 >					
10	9:00 ～ 9:12	令和6年能登半島地震における七尾港大田岸壁の復旧・復興までの取組― 早期機能回復と段階的整備の実施 ―	能登港湾空港復興推進室		上山 幾一
	9:12 ～ 9:18	質疑応答、入れ替え			
11	9:18 ～ 9:30	「道の駅」における防災機能の役割について	道路部	交通対策課	荒井 敦哉
	9:30 ～ 9:36	質疑応答、入れ替え			
12	9:36 ～ 9:48	原形復旧における「美しい山河を守る災害復旧基本方針」の解釈と親水空間の創出	能登復興事務所	調査課	松本 幸也
	9:48 ～ 9:54	質疑応答			
	9:54 ～ 10:05	《 休 憩 》			
< Ⅴくらし・活力 >					
13	10:05 ～ 10:17	新国管内パフォーマンスマネジメント ～新新BP阿賀野川大橋の渋滞分析～	新潟国道事務所	工務第一課	高野 颯真
	10:17 ～ 10:23	質疑応答、入れ替え			
14	10:23 ～ 10:35	佐渡島クルーズ船寄港時の二次交通実証結果について	新潟港湾・空港整備事務所	企画調整課	遠藤 真斗
	10:35 ～ 10:41	質疑応答、入れ替え			
15	10:41 ～ 10:53	国道49号水原バイパス全線開通1年後の整備効果	新潟国道事務所	調査課	長澤 颯哉
	10:53 ～ 10:59	質疑応答			

Dグループ / I－2イノベーション（全般）、VI環境

9月 8日（火） 13:30～16:54 会場：共用会議室 1

No.	時 間	発 表 題 名	発 表 者 所 属		発 表 者
< I－2イノベーション（全般） >					
1	13:30 ～ 13:42	両津港で初となるジャケット式栈橋の施工における技術的工夫について	新潟港湾・空港整備事務所	第五建設管理官室	久保 慧
	13:42 ～ 13:48	質疑応答、入れ替え			
2	13:48 ～ 14:00	犀川流域における気候変動を踏まえた降雨分析結果を用いた流域治水の見える化について	千曲川河川事務所	流域治水課	荒木 蒼志
	14:00 ～ 14:06	質疑応答、入れ替え			
3	14:06 ～ 14:18	設計・施工の一体的連携による設計最適化への取り組み－ECI方式を活用した能越道鷹ノ巣山1号トンネルの事例－	能登復興事務所	工務第二課	櫻井 彰
	14:18 ～ 14:24	質疑応答			
	14:24 ～ 14:35	《 休 憩 》			
4	14:35 ～ 14:47	国際物流ターミナルの大規模改良と耐震強化工事における課題と対処事例	伏木富山港湾事務所	新湊出張所	小幡 恵大
	14:47 ～ 14:53	質疑応答、入れ替え			
5	14:53 ～ 15:05	新型油回収装置の高度化に向けた検討について	新潟港湾空港技術調査事務所	環境課	波塚 陽汰
	15:05 ～ 15:11	質疑応答、入れ替え			
6	15:11 ～ 15:23	耐震補強工事における３Ｄプリンターの活用と仮設工法の最適化について	金沢河川国道事務所	道路管理第二課	百成 泰大
	15:23 ～ 15:29	質疑応答			
	15:29 ～ 15:42	《 休 憩 》			
7	15:42 ～ 15:54	敦賀港の岸壁 本体工事におけるICT、BIM/CIM活用による生産性向上について	敦賀港湾事務所	保全課	山宮 斗真
	15:54 ～ 16:00	質疑応答、入れ替え			
8	16:00 ～ 16:12	養浜材の分布状況把握における新たな取組について	金沢河川国道事務所	海岸課	谷内 煌太郎
	16:12 ～ 16:18	質疑応答、入れ替え			
< VI環境 >					
9	16:18 ～ 16:30	洪水攪乱の減少に伴う阿賀川 の環境変化と生物への影響について	阿賀川河川事務所	工務課	藤田 愛斗
	16:30 ～ 16:36	質疑応答			

Dグループ / I－2イノベーション（全般）、VI環境

9月9日（水） 9:00～10:59 会場：共用会議室 1

No.	時 間	発 表 題 名	発 表 者 所 属		発 表 者
< VI環境 >					
10	9:00 ～ 9:12	朝日温海道路における猛禽類繁殖巣への樹上カメラによるモニタリング	新潟国道事務所	計画課	栗野 真司
	9:12 ～ 9:18	質疑応答、入れ替え			
11	9:18 ～ 9:30	手取川における目指すべき石の河原環境の検討	金沢河川国道事務所	流域治水課	石崎 泉
	9:30 ～ 9:36	質疑応答、入れ替え			
12	9:36 ～ 9:48	河道掘削による環境整備とヤナギ再繁茂抑制対策の効果検証	信濃川下流河川事務所	流域治水課	中澤 美海
	9:48 ～ 9:54	質疑応答			
	9:54 ～ 10:05	《 休 憩 》			
13	10:05 ～ 10:17	高速道路支障木発生材の循環型現地処理による作業効率化とコスト削減～循環型社会の形成に向け～	(株)ネクスコ・メンテナンス新潟	長岡事業所 保全第一課	稲田 玲夏
	10:17 ～ 10:23	質疑応答、入れ替え			
14	10:23 ～ 10:35	猛禽類に配慮した工事施工	湯沢砂防事務所	工務課	田村 海杜
	10:35 ～ 10:41	質疑応答、入れ替え			
15	10:41 ～ 10:53	歴史的石積堰堤の保存と活用に向けた砂防工事	長野県	飯田建設事務所 関連事業課	仙田 勇人
	10:53 ～ 10:59	質疑応答			

Eグループ / IV維持管理・全般、Ⅶ雪

9月 8日（火） 13:30～16:54 会場：港湾海岸電算室

No.	時 間	発 表 題 名	発 表 者 所 属		発 表 者
< IV維持管理・全般 >					
1	13:30 ～ 13:42	豪雪地帯の水文観測所の維持とダム管理について	三国川ダム管理所		浅田 祐摩
	13:42 ～ 13:48	質疑応答、入れ替え			
2	13:48 ～ 14:00	国道４９号釣浜橋におけるＥＣＩを活用した耐震補強工事について	新潟国道事務所	管理第二課	柴田 遥大
	14:00 ～ 14:06	質疑応答、入れ替え			
3	14:06 ～ 14:18	連携排砂における宇奈月ダム先行操作を試行から基本運用へ移行したことにする報告	黒部河川事務所	土砂管理課	青木 惇平
	14:18 ～ 14:24	質疑応答			
	14:24 ～ 14:35	《 休 憩 》			
4	14:35 ～ 14:47	橋梁定期点検に関する北陸技術事務所の取り組みについて	北陸技術事務所	維持管理技術課	北村 拓途
	14:47 ～ 14:53	質疑応答、入れ替え			
5	14:53 ～ 15:05	一般国道８号上輪橋の鋼部材損傷における対応について	長岡国道事務所	管理第二課	石田 慎悟
	15:05 ～ 15:11	質疑応答、入れ替え			
6	15:11 ～ 15:23	大町ダム管理用制御処理設備の改修について	大町ダム管理所		圓山 祥真
	15:23 ～ 15:29	質疑応答、入れ替え			
	15:29 ～ 15:42	《 休 憩 》			
7	15:42 ～ 15:54	点検合理化によるコスト縮減および橋梁メンテナンス体制の強化について（高岡モデル）	高岡市	都市創造部土木維持課	彌永 貴裕
	15:54 ～ 16:00	質疑応答			
8	16:00 ～ 16:12	信濃川河川事務所におけるクマ出没への対応事例について	信濃川河川事務所	管理課	石田 将栄
	16:12 ～ 16:18	質疑応答、入れ替え			
9	16:18 ～ 16:30	千曲川管内堤防除草におけるモニタリング調査結果（中間報告）	千曲川河川事務所	管理課	金山 颯馬
	16:30 ～ 16:36	質疑応答、入れ替え			

Eグループ / IV維持管理・全般、Ⅶ雪

9月 9日（水） 9:00～11:17 会場：港湾海岸電算室

No.	時 間	発 表 題 名	発 表 者 所 属		発 表 者
< IV維持管理・全般 >					
10	9:00 ～ 9:12	金沢港の効率的な事業実施に向けた埋没予測	金沢港湾・空港整備事務所	企画調整課	東宮 真琴
	9:12 ～ 9:18	質疑応答、入れ替え			
11	9:18 ～ 9:30	管内のダム事前放流の取り組み概要について	河川部	河川管理課	大丸 歩
	9:30 ～ 9:36	質疑応答、入れ替え			
< VII雪 >					
12	9:36 ～ 9:48	路面照射装置を活用した除雪編成見直しによる作業の安全性、経済性及び生産性の向上について	㈱ネクスコ・メンテナンス新潟	長岡事業所 保全第一課	近藤 伶
	9:48 ～ 9:54	質疑応答			
	9:54 ～ 10:05	《 休 憩 》			
13	10:05 ～ 10:17	走行車両データの活用によるスタック予兆検知・発生確認システムの実用化に向けた検討について	道路部	道路計画課	渡部 恭平
	10:17 ～ 10:23	質疑応答、入れ替え			
14	10:23 ～ 10:35	令和7年度における、近隣事務所や他地整との連携を含む冬期の取り組みについて	長岡国道事務所	管理第一課	土屋 楓
	10:35 ～ 10:41	質疑応答、入れ替え			
15	10:41 ～ 10:53	「ほくりくふゆみち情報アプリ」による情報発信とその効果について	高田河川国道事務所	調査第二課	姥貝 草弥
	10:53 ～ 10:59	質疑応答			

会場のご案内

【開催場所】

〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1
新潟美咲合同庁舎 1号館

（交通機関のご案内）：詳しい時間は新潟交通ホームページでご確認下さい
新潟駅バスターミナル 10番線乗り場よりバスで約30分。

「水島町経由美咲合同庁舎行き」乗車 → 「美咲合同庁舎」下車

「水島町経由西部(営)行き」乗車

「県庁前経由曽野木ニュータウン行き」乗車

「県庁前経由嘉木行き」乗車

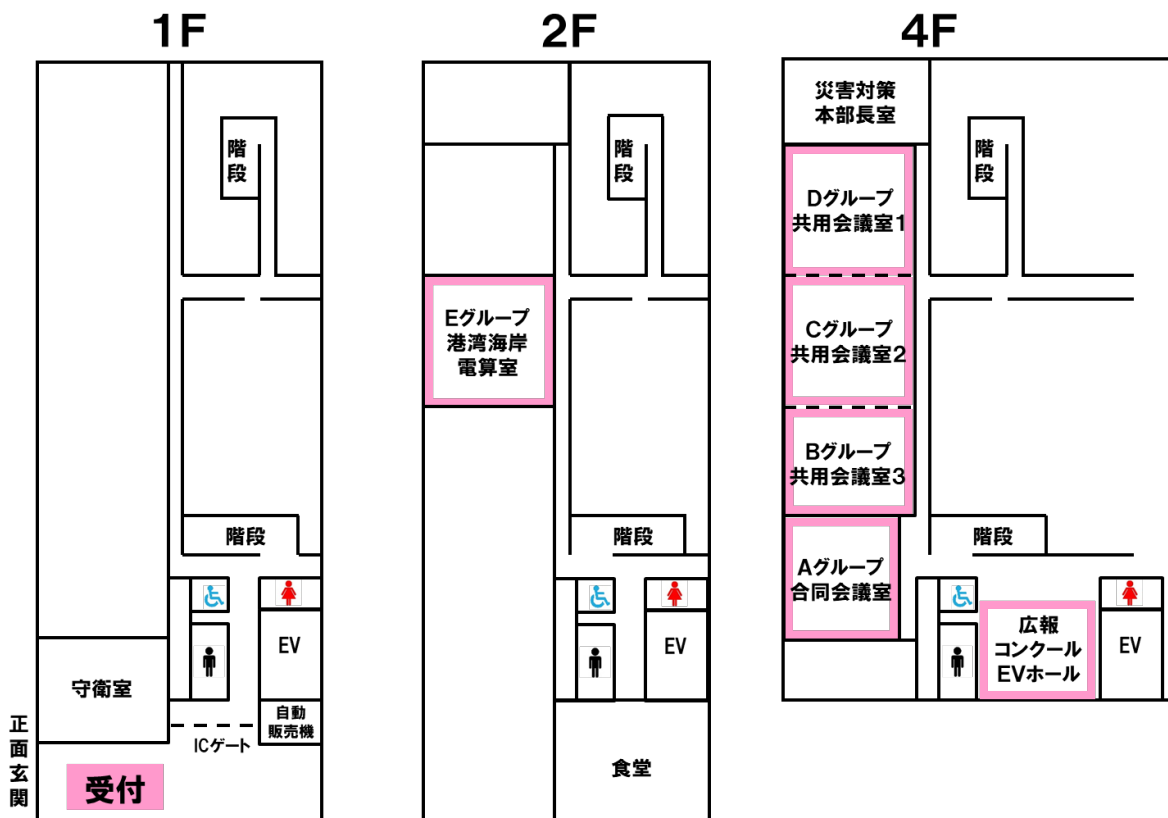
「県庁前経由酒屋車庫行き」乗車

「県庁前経由小須戸行き」乗車

「出来島変電所前」下車
約400メートル



【庁舎内案内】



【問い合わせ】

北陸地方整備局 事業研究発表会 運営事務局
(企画部 企画課 企画第二係)

〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1

新潟美咲合同庁舎1号館

TEL.025-280-8834 FAX.025-280-8835

E-mail kikaku@hrr.mlit.go.jp



Memo

